

新入社員研修④ 会社組織の位置づけと地域社会における繋がり的重要性を理解する -4/8 (木)

研修のねらい

- 責任ある社会人としての自覚のあり方と企業責任の理解
- 会社と地域社会との関りと、繋がり的重要性の理解

時 間	内 容
10:00～11:00	1. 会社と社会ならびに地域社会との関り 企業の成り立ちを学ぶとともに、企業が社会的に存立するための要件を理解する 【M D P & 講義】
昼食休憩	
13:00～14:00	2. 会社の利益の源泉 近年の企業不祥事の事例を学ぶとともに、会社の利益の源泉は本質的に何であるかを理解する 【M D P & 講義】
14:00～15:00	3. 陥りやすい落とし穴（個人の不祥事と会社への影響） 企業と個人の関係を正しく学びとともに、近年の個人の不祥事事例を通じて、その影響の大きさを理解する 【M D P & 講義】
15:00～16:00	4. ハラスメントとは ハラスメント問題について正しく学び、上司や先輩からの指導などを適切に受け止めるための心構えとスキルを理解する 【M D P & 講義】
16:00～17:00	5. グループディスカッション&全体討議 本日の学びを振り返るとともに、全体討議を通じて理解を深める 4日間共に学んだ仲間の繋がり的重要性を考える

※時間配分は進行によって前後することがあります。
※休憩は基本的に1時間ごとに10分程度取ります。

※M D P（Management Development Program：経営能力開発プログラム）とは？

企業人は「こう思う」という思いつきで留まっています。

「何故そういえるか」を徹底思考し、責任ある見解に基づき行動することが肝要です。

M D Pはそうした「自主的にして責任ある思考」をトレーニングするために、日本経営開発研究所が創案し50年以上の実施経験をもつ教育方式です。

具体的には、以下のような与えられたテーマについて、まず自分の主張（○×とその理由）を整理した上で、他の受講生や講師との質疑・ディスカッションを行います。

テーマ例：「就業時間外は個人の時間であり、それをどう使うかは個人の自由であり、
会社の事は考える必要はない。」



【講師プロフィール】

栗原誠一郎 株式会社日本経営開発研究所 代表取締役
大阪大学を卒業後、銀行系シンクタンク（旧三和総合研究所）に入社。
経営コンサルタントとして人事関連分野（人事管理・社員教育）を中心に活動後、
20年来の業務提携関係にあった株式会社日本経営開発研究所を継承。
現在、上場企業を含む中堅中小企業に対する経営指導、人材育成を行っている。